自治会フォーラム

グループ発表（発表の掲示から）

グループ１

**テーマ　問1　在り方提言取り組みできることは？**

◯やる気のあるものが長年できる体制

◯仲間づくりが必要だ！（雰囲気づくり）

◯機能させられる仕組みが必要

◯何年後の役員を決めておく（福岡）

◯自治会長は６０代　自治会によるバランス

◯意見を出し合い合意形成が大事

◯賛成意見は表面化しない

◯できないところはどうしていったらよいか

◯孤立化してしまう

◯仕事量が負担。町内会費が余計

◯押し付けになっている

◯義務感として役割をしている

◯お祭り、サポートなし

◯担い手不足（役員）

◯見える化　教科書化は見本となり改革になるか

◯地区による特徴　行事　祭りの目的意義の明確化　共有必要

◯高齢化で役ができない。16戸から20戸に

◯アンケートに中止は入れなかった（取り方を工夫）

◯行事の合理化はできない（負改革）

◯事務局体制の構築をすること

◯介護との両立困難であった。

◯改革していかなければ

◯区により役員負担の違いがある

◯単年度制の弊害

◯役員の連続、負担が重い

◯運動会継続ボッチャに代えた（市場割）

◯アンケートし中止。モルック大会に。

グループ２

◯問題点多すぎる

◯抜けることも検討　近所付き合いあるので困らない

◯どこの区も自治会も前年度踏襲　これがもはや厳しい

◯困ったとき市が動いてくれた

◯役割

◯伴走型支援　誰が誰に支援？、誰が誰に伴走？

◯民生委員出せない

◯見たことのない駒ヶ根　改革　ひとつの星を見せてのやり方はないか　市民にお任せ？

◯環境問題　ゴミの出し方、不法投棄　ヒドイ！

◯町内会　８５年経つ　見直してはどうか　一見で３人出している

◯担い手

◯町２区　総務→２〜３年後区長

◯事務局欲しい。中沢、東伊那　公民館に専任の主事がいる。

◯１年の役　新しいものは考えられない

◯定年延長　引き受け手がない

◯高齢　役ができない→自治会抜ける→ゴミ出し、草刈り

◯負担軽減

◯分館行事多く大変。お祭りの年。戻りつつある。

◯自治は行政でやったらどうか

◯区長、副区長、分館長も負担　分担の仕方

○お金

◯区費　自治会費の統一化

◯お金の負担もあって大変　北割は区費が安い（２０００円）

◯加入金　高いと入りたくない。そこは考える必要ある。

◯コロナを経て行事が変わった。ブレーキかかった。どれを戻すか試行錯誤

◯どう進めるのか、予算まかないきれない。

◯加入金やめる時どうなる？→返してくれない

◯お宮と自治会は別にして欲しい。社殿の建て替え。政教分離。

グループ３

区　役員負担軽減！！

◯忙しすぎて新しいことにチャレンジできない（改善など）区長さん

◯区長は忙しい

◯フォーラムもお祭りが終わってからにして欲しい。

◯区の中に市役所の人がいてくれると助かる。

◯役員がOB（顧問）として残ればかなり楽になる。

◯市役所職員再任用の方がもう少し区へ関わってくれてもよいのでは？

◯市役所の人ももう少し親身になってくへの助言、手伝いをして欲しい。丸投げしすぎ！

メリット・デメリットの明確化！

◯自治会未加入者多い　若い人が多いのに

◯区の活動　参加者少ない　スリムか必要

◯いつも同じ人が出てくる。

教科書づくりは大切！

◯地域の教科書化はできるんじゃないか？

◯教科書がないから全体が見えない

◯組織の説明が市役所からない。教科書づくりが大事。

◯焼き芋、焼肉で子供たちがつながるような企画→お祭りに発展していくのでは？

◯外から来た人から見たら閉鎖的に見える。

◯集金≒たかり　じゃないけど　宗教の問題、神社の問題

◯河川がないのに河川清掃だなんて！

グループ４

◯成果があるのか　自治組織の在り方

人とのつながり

◯若い人が外で仕事しているので顔が見えるように会合を持ったほうがいい

◯コロナで人のつながりが切れてしまった→祭りの活用など

◯二十歳を祝う会に消防団を出してもらう

区　施策

◯半分忙しくて話する余裕がない

◯自治会の会合で、前は打ち合わせができたが、今はできなくなっている。

◯見える化　地域の行事など

◯区報を年２回から月１階に変更　情報の共有

◯行政の後押し（→サポート）が必要

◯事務局を作る方が良い（各区の中に）

◯今までの経験者にも会合に出てきてアドバイスを（もらう）

◯区によってやり方が違う

◯区長会で話し合いはしているのか

◯区での改革を共有しているのか

◯仕事を分担して皆で行う

◯副区長２人→事務方・お金関係も担当　区長→対外的なこと　北割二区

◯メリット・デメリットが分かりづらい

◯相談役会があって　区長選考委員会がある（上穂町）

グループ５

役員関係

◯役員の負担軽減は必要

◯組内で情報が共有されない

◯小さくてもできることはあるのでは

若者の積極参加

◯いかに納得感を共有するか

◯経験者の意見は重要だが柔軟性が必要

◯「自分たちの地域は自分たちで守る」当事者意識には差がある。

◯いかに若者に伝えるか

事務の見直し

◯合理性だけの重視はだめだが見直しは必要

◯お祭りは必要だが同じ規模で維持は難しい。

◯守りながら今できる規模に

◯区や自治会事業

◯やらなくてよかったものをただもとに戻すのは違うのでは

◯事業　やめるには大きなエネルギーが必要

◯内容を変えたら参加者が増えた事例も

◯変更にもエネルギーが必要

◯コロナが明けて復活した事業は「本当に必要なの？」と思う若者もいる

行事の見直し

◯皆がやりたいことかどうか

◯目的意識に立ち返ることがポイント

役員の仕事の見える化

◯ファースト・ミッションボックスの活用

コロナによる良い影響

◯総会の書面決議化で役員のなり手が増えた

◯誰医のために行事をやっているのか、目的は何なのか。そこをはっきりさせないといけない。

◯フェイス・トゥ・フェイスを組みの中で小さくて良いので始める

移住者・未加入

◯移住者など人数的には多いが、そういう方に役を任せられないという。もともとの住民がいてなかなか上手くいかない。

◯途中加入者は地域の活動に加わりにくい

◯未加入のアパートの方々にも防災訓練などについてはアナウンスしても良いのでは

◯組に入っていてもメリットを感じないから抜けさせてくれという人がいる。

◯もともと住んでいる人ばかりではない。

◯なぜ自治会にナイル必要があるか。から説明が必要。県外から来られた方など、それぞれ意見が違う。未加入者の扱いは課題。

◯防災　未加入者分目で協力金を払っている。周知されているか。

◯ゴミや災害　誰でも共通の問題に優先して考えていくと良いかもしれない。

グループ６

区の未加入

◯区に入らない人にも区費を使わなければならない？

◯連絡も難しい

◯社協の会長の人選方法

◯４月はじめのあいさつ運動

◯区の活動の目的を明確にしていくべき　サロン　消防団等は目的が明確

◯サロンの参加

◯区民夏祭り

◯区民運動会

◯敬老会

◯役員選出

◯考えていかなければならないこと

◯役員の負担

◯東伊那　区の役は同世代（同級生）で選出

◯福岡　任期２年　副→長になる

◯地区により人選できない場合　前任者継続する場合もあり

◯区の三役　分会の二役は過去１０年の経験者が集まり特別委員会を立ち上げ決めている

◯次年度は決まっている　三年先を決める

◯区の三役の事務引継を明確にする（マニュアル化）

◯役員の任期　長すぎると後任が育たない

◯隣組

◯隣組は自治会の基本　隣組の連携を強くしたい

◯隣組長の老年化

◯市営住宅の対応が難しい（自治組合に入っていない）

◯福祉活動

◯東伊那　支え合い相談　ちょこっと応援団　１回／週対応

◯役員待遇が悪い→対応困難

◯支え合い推進会議・地区社協・区・民生児童委員・育成委員　いろいろな団体を統合・見直しできないか

◯絶対に必要な役割は？

◯子供や老人の見守り？←社協？

◯防災？←空欄

◯消防団？⇔消防署

◯作業の効率化

◯工夫でなんとかなるもの

◯他の組織とのすみ分け

◯責任の明確化

◯区役員会等の資料の電子化

グループ７

「住民自治」

◯自分たちの地域は自分たちで住み良くする。住民自治の原点に帰る。

◯核家族化、家族数の減少化、高齢化、人口減少下、自治会には厳しい現況だ。

◯隣組との付き合いを大切にしよう

◯外部よりの移住者が半数以上で自治組織自体が？

◯若い世代が自分たちのこととしてしっかり考える

→◯良い「お祭り」がある街は健康だ

「防災・災害」

◯市・自治会での防災士の役割は？

◯防災士について市はどう思っているのか？

◯駒ヶ根市はもっと防災士の活用を！

◯資格取得に補助金を出している以上活用を」

「自治組織の在り方」

◯自治組合に加入しないエリアに住んでもらう

◯自治組合、区の活動を１年間停止して再確認する

「役員のなり手不足」

◯移住者、３０年ぶりにUターン

◯地元組織がわからない

◯役員の役割をできるだけ少なく

◯事務支援、DX活用

◯マニュアル

◯事務

◯次の役員の決め方

◯役員報酬の考え方

◯補助金、市から人口割、均等割も

◯会費（区費、自治会費）

◯出すものは出して活動してもらう。

◯K区　F　あと５年経過したら、隣組長、自治会役員をデキる人が極端に減少する。何らかの対策が必要、自治会ごとの問題が顕在化。

◯U区◯町内会長

◯地区の役員を演る人、やりたくない人の意識の差が拡大

◯役をやっている人間に仕事が集中しすぎる

◯高齢でも役員をしなければならない体制を見直して欲しい。

◯高齢でできないから区を抜けるのでは、本末転倒になる。

グループ８

◯役員の負担軽減

◯規約改正がネックで改変のスピードが遅い

◯このフォーラムの流れはわかったが、今ここにいる人は始めて参加しており、「話題」がもとに戻ることになり、うーん。

◯新しく家を建てた人が区へ加入に難色を示す。加入金も大きいし、簡単ではない。

◯男性ばかりの役員の中に女性も参加してもらうようにする。

◯若い世代への伝え方を考える

◯自治組織に降る業務を減らす

◯自治会の会長や副会長は会議の資料づくりや会計などやることが多い。総務みたいな役を置いて資料作りや会計を専門にやってもらう。

◯事務局は置くべきだ。

◯市から各自治組織へ助太刀をする

◯役員負担を軽くするにはどうしていくか？

◯役の引き受け手がなかなか見つからない

◯若い世代に向けて

◯若い世代に目を向けてもらうためには

◯若い人たちが祭りへの参加を知らない（分からない）事を理由に見合わせる

◯自治組合も同様

◯若い人たちがこのような回には参加しないし関心がないし…

◯家庭内のつながりが希薄になっている

◯高齢化、少子化で祖父母と子供のふれあいがない

◯担い手不足

◯労働環境の変化で仕事を続けていて、自治組合長になれない

◯一年（副を含めて２年）では課題の解決が困難。継続の難しさ

◯高齢化により役員のなり手の減少が問題になっている（困っている）

◯自治会に加入する件数が少なくて困る

◯コスモス活動

◯高齢者の集いは活況

◯運営は区長経験者

◯役員の選考方法の改善

◯役員は事実、大変だと思うが必要

◯加入していることのメリット・デメリットというが、隣組加入は隣の人、家族の人となりを知ることだから苦労する。

◯苦は…苦労なく安全な暮らしを確保できればありがたいこと。行政や警察のお世話のみ…

◯本日のフォーラムは？

◯グループディスカッションでアイディア出すべきテーマが未定なのはおかしい。

◯今回のグループ討論の目的が不明

◯各グループごとに先の検討会で出されて問題点を割り振りして具体的アイディアを出してもらう方法を期待していた。

グループ９

H　最初から仲間意識がないと

Y　何回か訪ねていって話をお聞きする

A　何を目指しているのか？市がもっとはっきり見えるように

M　結論が欲しい

K　男女共同参画

Y　７５歳以上の男性は動かない

K　女性に声をかけたら引き受けてくれると思う

Y　区長、自治組合長、女性に出てもらわないと

Y　自治組合　墓見出しに必要だから加入する人も　区に依頼しても変わらないという意識

A　自治組合長、副区長、隣組長　何という区なのかと不信感　仕事量にうんざり→動員（役員負担）

K　S区長　会社リタイアして５年　諏訪の会社に通勤　お祭り準備で地獄を見た（強制）昔から任意だとまわらない

K　御柱祭の川渡し　危険性を指摘したが、そのままこだわり提案してもスルーされるのは現実　変えるべきは帰るべき

M　Nに自治組合長　在り方　高齢化と人口減で役員の担い手があと数年　〇〇に４０年間勤務（何も考えとらん）

Y　配布物が多い　７４歳以下はLINEでOK　７６歳以上は厳しい　育成会はLINEで対応　隣組や防災会はペーパー

H　寄付金やめていいのでは？

O　募金（小顎、任意）

K　一人千円単位の募金

HO　７９歳で引退したいお年頃。辞めると地域から関係なくなる懸念、自治のあり方重要

HI　分譲地が増加。加入金と自治会費。そのメリットは？かつてと比較すると半分くらい。メリットの説明が難しい。

Y　自治組合長、民生委員　４年間４００日間　転勤　長野市に３０年以上居住していた。小規模自治体感　☆費用負担も実働負担も

M　７０代まであと５年　２回目が回ってくる　事務量が多くて配布物が多い

Y　QRコードで本部からダウンロード

Y　自治組合の活動をもっと仕事との両立可能にする（ヒト、モノ、カネ）メリットー福祉と防災

O　事務局体制により負担軽減を

HI　C区出身。副区長と会計、来年スライドで区長。事務局　誰がやるのか？（事務局の継続性はあるのか？）

Y　子供向けのピザ作りなどは人が集まる　上からの押し付け　ない

K　市からの配布物多い。隣組単位の配布物の仕訳は市役所でやっている。市役所の事務量多い。

I　自治組合が入会金高くて驚いた。

I　福祉と防災と子供限定してもよいのでは？

◯長野市　自治会費４０００円位　支所対応

◯塩尻市　自治会費５０００円くらい　支所対応

◯駒ヶ根市　自治会費１００００円　区費５０００円　地域住民

◯費用負担の高いい割に地域住民負担あり

◯男女共同参画を進める

◯女性の力、参加

◯熟年層は光景年代層に寄り添って支援していく

◯子供向けのピザ作り

◯子育て世代、親への蕎麦打ち教室（手作り）

◯デジタル化

◯防災、福祉へ

◯募金・寄付→クラウドファンディング

グループ１０

◯まずは効率

◯課題解決へのタイムラインを急ぐこと

◯事務局体制の設置

◯市全体に関わる業務（回覧）

◯自治組織運営の相談

◯自治会同士の情報共有

◯自治組合への依頼事項ー人員選出

◯国勢調査・民生児童委員

◯各役職の仕事量の軽減

◯役員の負担を減らすための方法について（具体的に）出し合い行政と一緒に解決していくことが大切

◯SNS使っていく

◯SNSの活用

◯イベント情報

◯組織について

◯市の配布物は自治会へ回さないでほしい

◯全戸にタブレットを配布し回覧をやめる（集金含む）

◯市の集金、社協、日赤なども自治会へ回さないで欲しい

◯お金の集金を市で一括で行い、各自治会へ配布

◯隣組費は４月に一括納入することで毎回集金する必要がない

◯役員負担、費用負担、その会合が必要

◯世帯減少は財政も苦しくなる

◯自治会費が高い　各地区の自治会費＋区費　ー年金生活者には厳しい

◯集金方法　お金の持ち運び、高齢ー家が遠い

◯自治会に入らなくてもゴミ等が捨てられる

◯市が言っていたと断られた

◯隣組の役割は

◯祭りの必要性とは

◯係をしてみないと問題が見えない

◯若い年齢の人や女性（全般）の自治会についての捉え方や考え方を詳しく調べる必要がある